



発行：なごやか地域福祉 2020 策定事務局

パブリックコメント実施のお知らせ

「なごやか地域福祉2020（案）」は、社会福祉法に基づき、地域の福祉課題や生活課題を明らかにし、今日的課題や社会福祉法の改正を踏まえ、本市の地域福祉の目指すべき方向性を示す計画として策定するものです。

この計画のパブリックコメントを以下のように実施します。ぜひご意見をお寄せください。

<意見募集期間>

令和2年1月17日（金曜日）～令和2年2月17日（月曜日）（必着）

<計画案の配布場所>

- 市民情報センター（市役所西庁舎1階）
- 区情報コーナー
- 区社会福祉協議会
- 名古屋市公式ウェブサイト

<http://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000124324.html>

トップページ>市政情報>パブリックコメント>意見募集中の計画等>なごやか地域福祉2020（案）及び名古屋市成年後見制度利用促進計画（案）についてご意見を募集します。

- 市社会福祉協議会ウェブサイト

※点字版、音声変換用テキストファイルをご希望の方は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

■健康福祉局地域ケア推進課地域福祉係（☎：052-972-2548）

- ・住所 〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号
- ・ファックス 052-955-3367
- ・電子メール a2548-02@kenkofukushi.city.nagoya.lg.jp

<提出方法>

提出用紙又は任意の用紙に、住所、氏名をご記入の上、郵送・ファックス・電子メールでご提出いただくか、ご持参ください。

公式ホームページでは、計画の策定及び推進状況を順次お知らせしています。

なごやか地域福祉2020

検索



なごやか地域福祉 2020（案）について

アンケート調査や現地視察等で明らかとなった地域の様々な福祉課題・生活課題やこれまでの策定懇談会・作業部会での議論等を踏まえながら、基本となる理念と目標とともに、3つの「取り組むべき方向性」を定めました。

課題

● 地域をとりまく現状と福祉課題・生活課題

- ・つながりの希薄化と地域からの孤立の問題

地域住民が生活課題に気づき、支えあうことができる住民主体の仕組みづくり、専門職や関係団体との連携が求められています。

- ・支援が必要な人と必要な支援が結びついていないことの問題

公的サービスや相談窓口の利用にたどり着くことができない人や必要な支援を受けることを拒否する人がいます。

- ・地域福祉活動への参加とキーパーソン等の負担の問題

地域福祉活動に参加する人を増やしていく必要があります。

● 私たちの地域における今日的課題

- ・複合的な課題を抱えた人や世帯を支援するための「包括的な相談支援体制の構築」
- ・住まいや就労など暮らし全般にわたる「地域でともに暮らす人の多様なニーズへの対応」
- ・南海トラフを震源とする大規模な地震など「大規模災害に備える地域ぐるみの取り組み」

基本理念

人権が尊重され、誰もがいきいきと暮らし、活躍できるまち、名古屋を目指して

基本目標

地域共生社会の実現に向けて、市民、地域に関わる様々な団体、社会福祉協議会や行政が互いに手を携えて連携・協働し、地域の誰もが役割を持って、つながり支えあいながら、自分らしく暮らし活躍できる地域社会を目指します。

取り組むべき方向性

1 つながり支えあう地域をつくる

～社会的な孤立を生まない地域を目指す

① 孤立を生まない地域づくり

② 困ったときに支えあい助けあえる地域づくり

2 一人ひとりの「暮らし」を支える仕組みをつくる

～支援を求めている人、手助けが必要な人を支える

③ 様々な困りごとを丸ごと受け止め支える仕組みづくり

④ 地域で安心して暮らし続けるための支援の仕組みづくり（権利擁護の推進）

3 地域で活躍する多様な支え手を育む

～「支え手」「受け手」の関係を超えて、誰もが活躍できる地域を目指す

⑤ 多様な主体の参加促進

⑥ 地域福祉の支え手の活動支援



【編集・発行】名古屋市健康福祉局高齢福祉部地域ケア推進課 ・ 名古屋市社会福祉協議会地域福祉推進部

Tel 052-972-2548 / Fax 052-955-3367